

武田講師からの報告（要約）

韓国での高学歴化が就業と結婚に対してどのような影響を与えているかを統計と文献にもとづいてお話しします。平均初婚年齢、結婚規範（結婚すべきという考え）、結婚意志、独身理由などに関する内閣府の国際調査による統計を示し、日韓の差をまとめた。

日本 結婚規範が韓国より弱いものの、結婚意志は韓国より強い。しかし、結婚によって自由を失いたくない

韓国 結婚規範が日本より強いものの、結婚意志は日本より弱い。その理由は学業に打ち込むため、必要性を感じないなどが主である。若すぎる、経済的余裕がないという回答も目立つ。その背景としてIMF通貨危機などによる韓国の若者の就業状況の厳しさ（青年失業者の増加）と高学歴化が深く関与している。若者は大学院進学や留学などでスペック（自分自身の客観的価値）を高めることによって就業の可能性を高めようとしており、それがポスト青年期の長期化をもたらしていると指摘した。